

# 中期経営計画及び 2015年3月期決算説明会



**日鉄住金物産株式会社**

NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION

# 目次

---

---

1. 会社概要・事業内容
2. 2015年3月期業績
3. 中期経営計画(2016年3月期～2018年3月期)
4. 2016年3月期予想

# 1. 会社概要・事業内容

# 会社概要

商号	日鉄住金物産株式会社 (NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION)
所在地	東京都港区赤坂8-5-27
代表取締役社長	樋渡 健治
設立	1977年8月2日
資本金	123億35百万円
事業内容	鉄鋼、産機・インフラ、繊維、食糧その他商品の販売及び輸出入業
従業員数	1,479名(単体)、7,993名(連結) (2015年3月末時点)
営業拠点	国内31カ所(本社、支社1、支店13、営業所16) 海外17カ国36都市
業績	売上高:2兆1,046億円 営業利益:286億円 経常利益:305億円 当期純利益:174億円 (2015年3月期)

# 当社の企業理念と経営方針

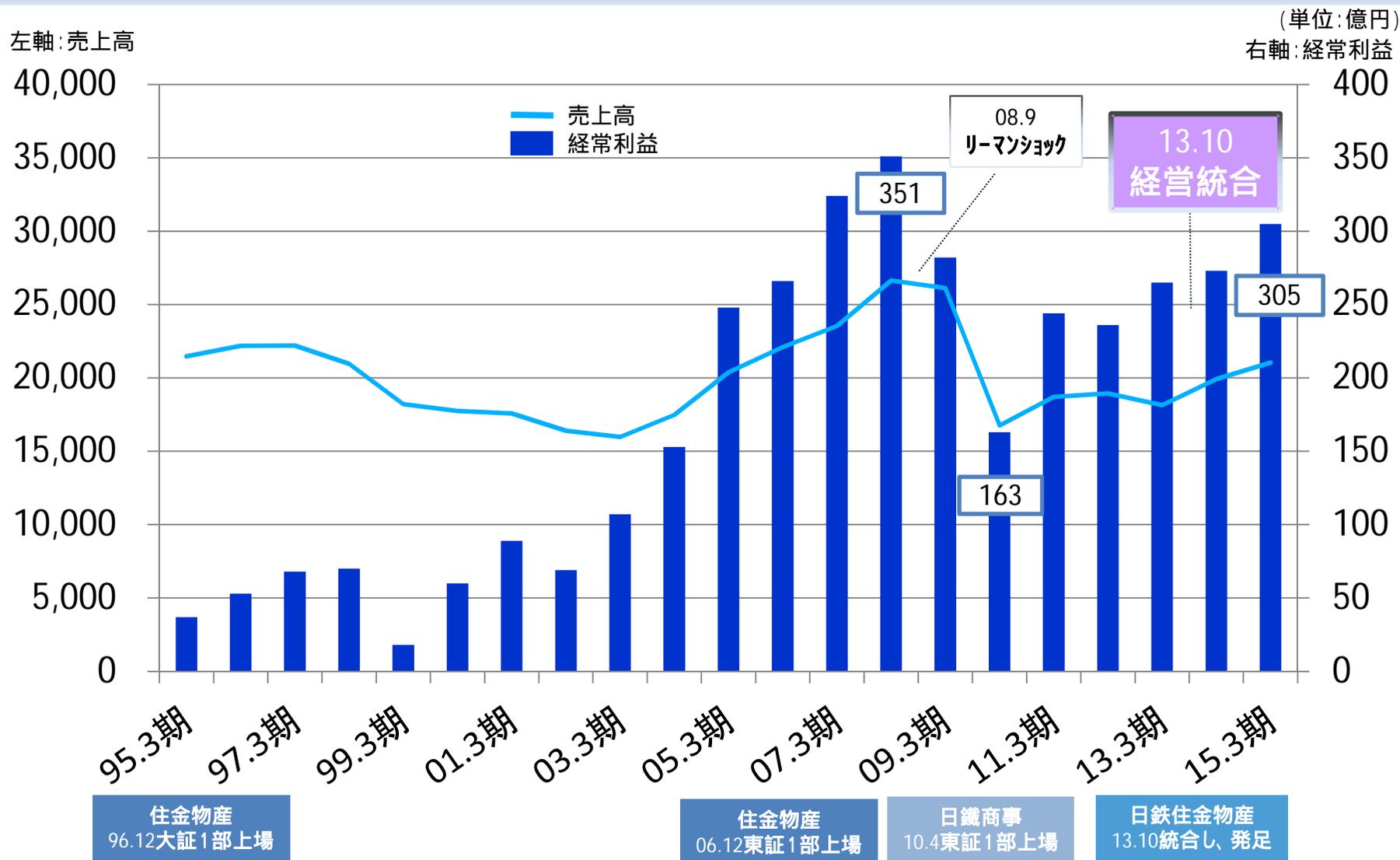
## 企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す  
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

## 経営方針

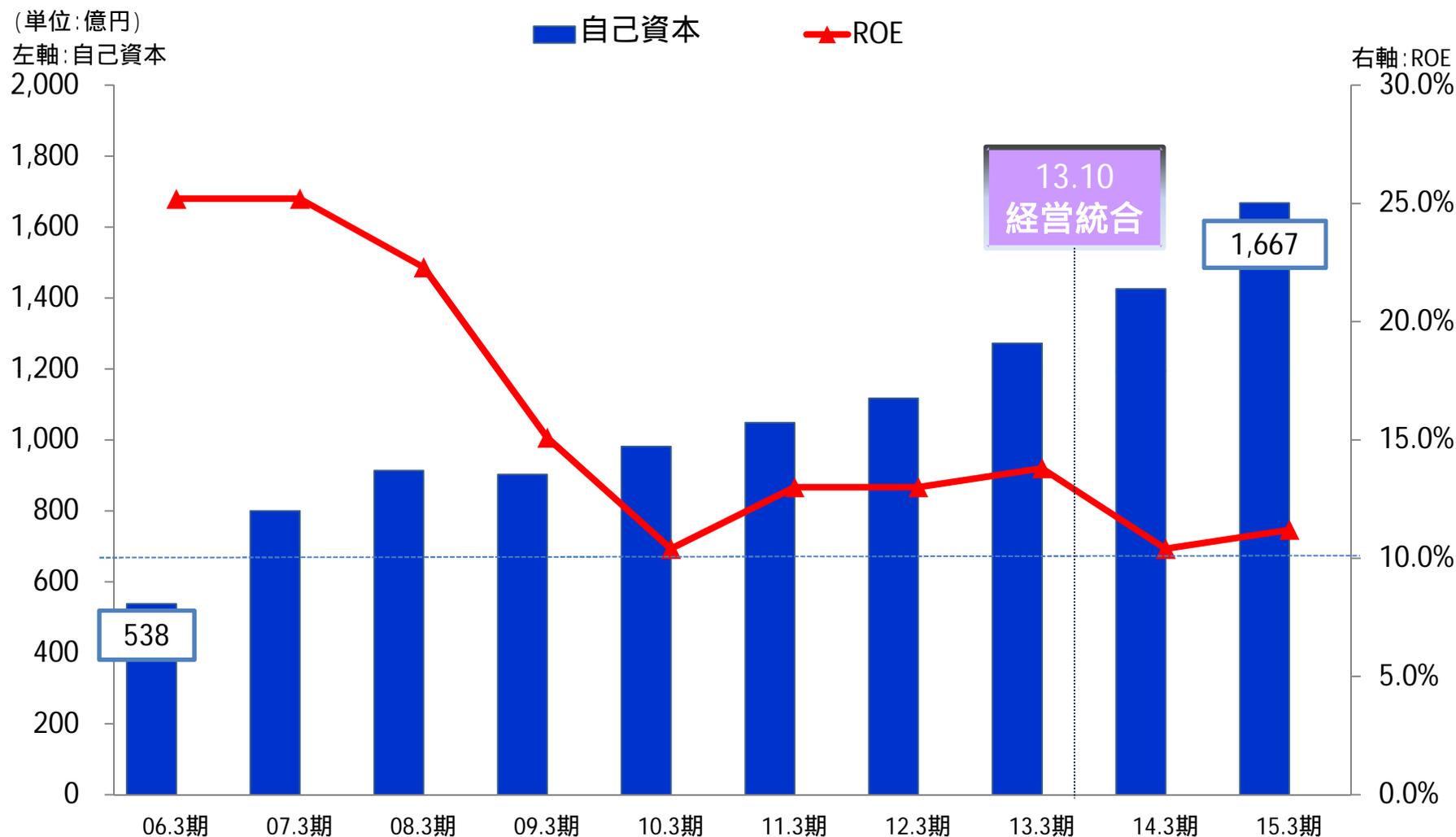
1. 新日鐵住金グループの中核商社として四事業分野の強化と拡充
2. グローバル戦略の加速
3. 複合専門商社としての総合力の発揮
4. コンプライアンスの徹底

# 業績推移 & 主な出来事



14.3期以前の実績は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算しております。  
Copyright © NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION

# 過去10年間の自己資本、ROEの推移

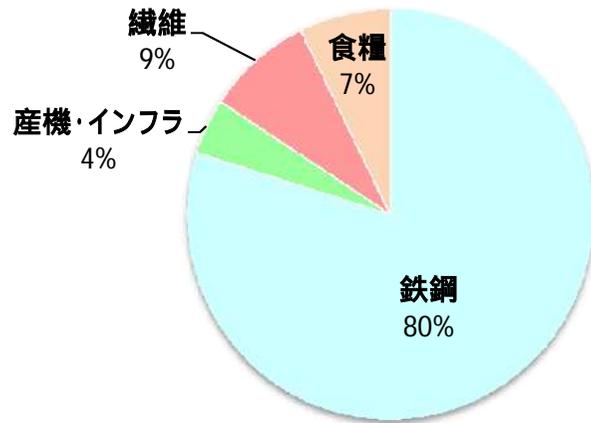


14.3期以前の実績は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算しております。  
14.3期実績の当期純利益に含まれる、合併に伴う負ののれん発生益116億円を除いた数値であります。

# 事業内容

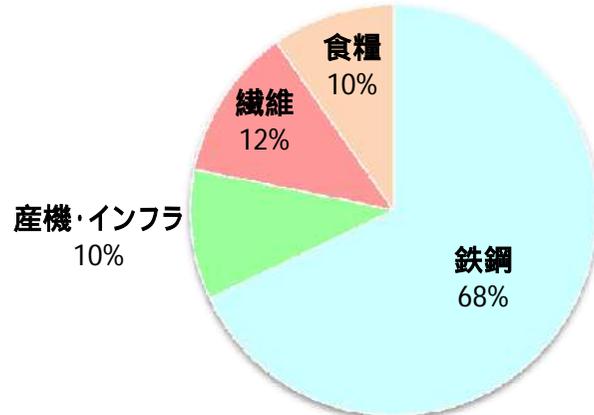
## 売上高構成比

15.3期売上高2兆1046億円



## 経常利益構成比

15.3期経常利益305億円



### 鉄鋼

- 鋼材の国内外流通及び加工販売
- 鉄鋼メーカー等への原燃料・機材の販売



### 産機・インフラ

- 産業機械・工作機械の販売
- 自動車部品の製造・販売
- 鉄道車両品等の販売
- アルミ製品等の販売
- インフラ事業



### 繊維

- アパレルメーカー/小売向けOEM生産
- ソリューション事業  
(国際物流・海外ブランド事業等)



### 食糧

- 食肉及び食肉加工品等の輸入販売
- 水産品及び水産加工品等の輸入販売
- 外食

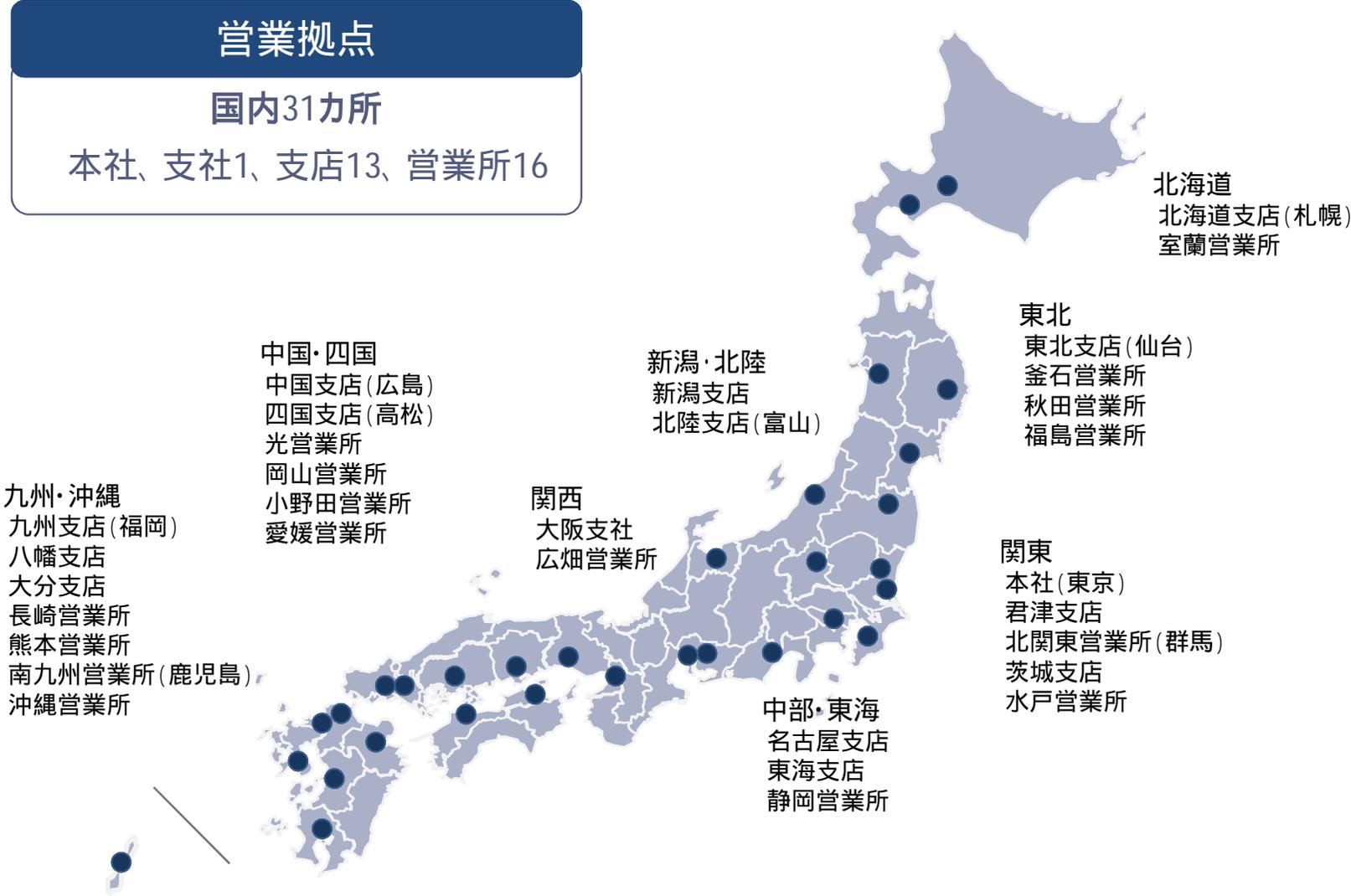


# 国内営業拠点

## 営業拠点

国内31カ所

本社、支社1、支店13、営業所16



# 海外営業拠点



# 鉄鋼事業

## 新日鐵住金グループの中核商社

総合力世界No.1 鉄鋼メーカーを目指す新日鐵住金の技術力を  
 背景とした鋼材の提案営業  
 新日鐵住金グループと戦略を共有し事業展開  
 鉄鋼原燃料・機材の調達機能



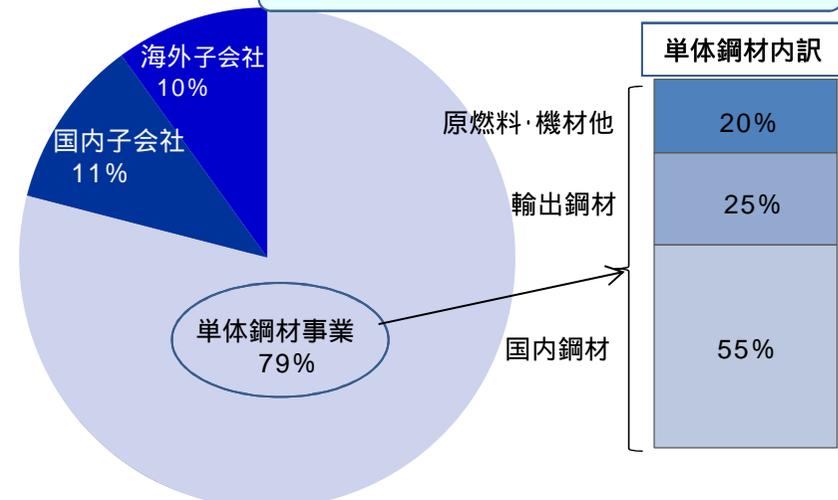
## 国内外のバリューチェーン

多数の営業拠点によるきめ細かな国内・海外の販売網  
 加工事業会社による付加価値の創造・・・顧客満足

### 加工事業会社

	連結子会社・持分法適用関連会社				合計
	コイルセンター 鋼板加工	建築建材	鋼管 棒線 特殊鋼	その他	
国内	12社	7社	10社	4社	33社
海外	16社	-	3社	6社	25社

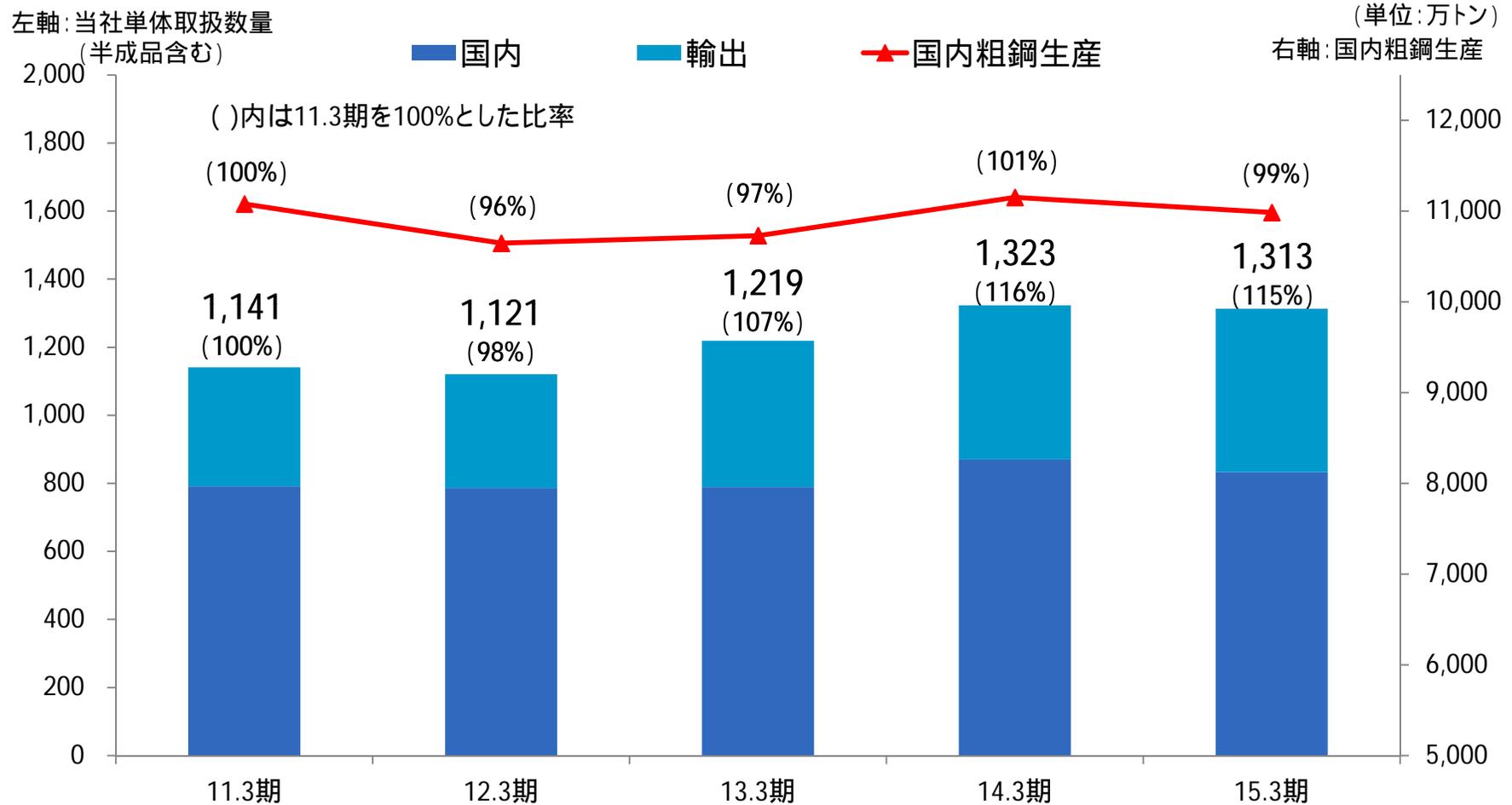
鉄鋼事業連結売上高 1兆6796億円



単体鋼材事業の内訳は連結消去前の比率であります。

# 鉄鋼事業

## 内外需要の捕捉により鉄鋼取扱数量は増加



14.3期以前の実績は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算しております。  
 (出所) 国内粗鋼生産: 一般社団法人日本鉄鋼連盟

# 鉄鋼事業

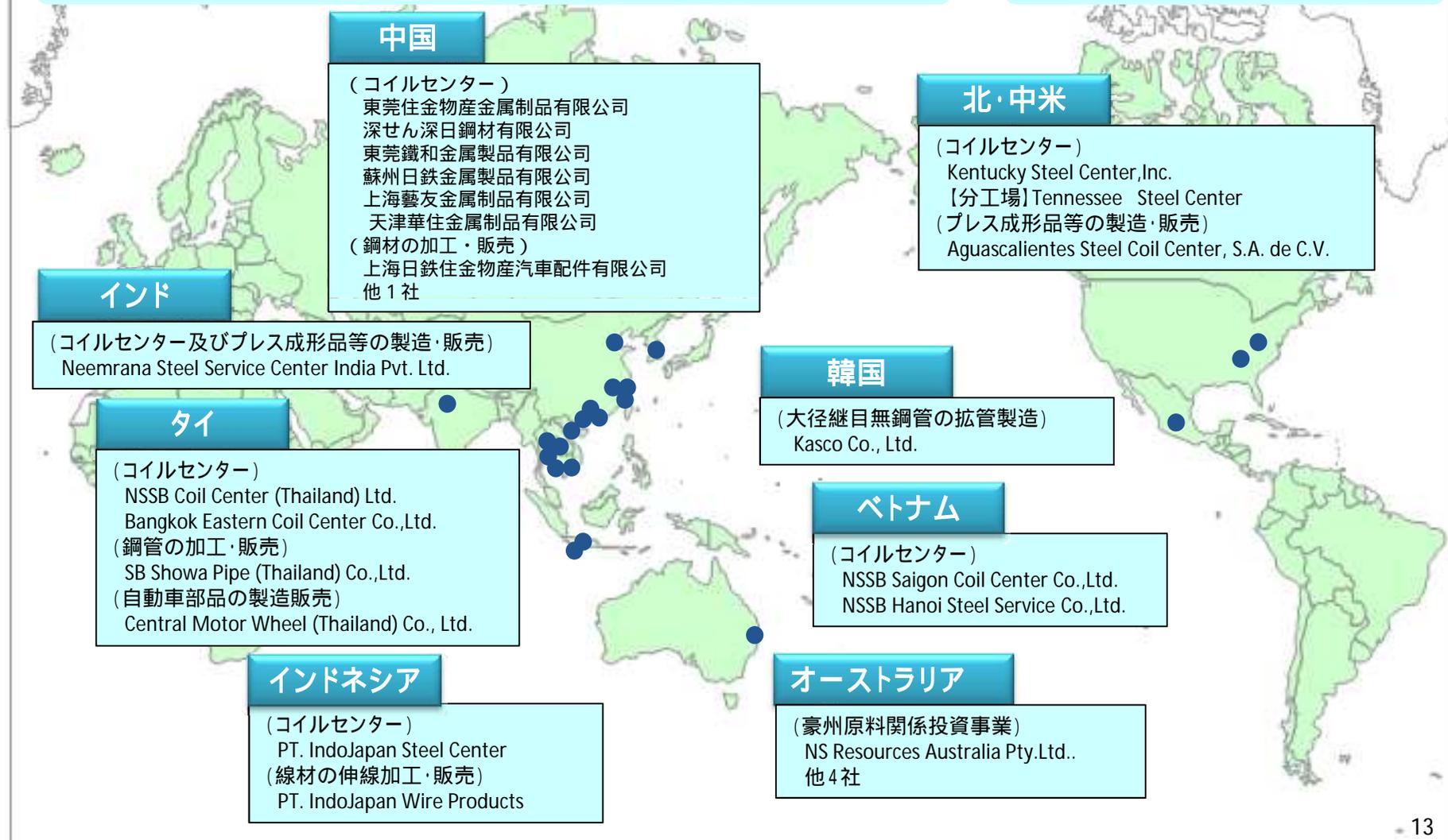
国内関係会社網: 38社 163拠点 (営業・加工拠点合計)  
顧客密着型の営業でお客様の要望をタイムリーに解決



# 鉄鋼事業

## アジアを基軸としグローバルに事業展開

## 海外事業会社 25社



# 産機・インフラ事業



## 産業機械・工作機械の販売

米国市場に対する工作機械及び部品の販売やロシア市場に対する大型圧縮機や建設機械の販売



## 自動車部品の製造・販売

自動車部品(ヘッドレスト部品、変速機部品、鋳鍛鋼品)の製造及び販売



## 鉄道車両等の販売

鉄道車輪・車軸、レール削正車等の販売



## アルミ製品等の販売

アルミの製品、伸銅品、メタルシリコン、炭素繊維等の販売

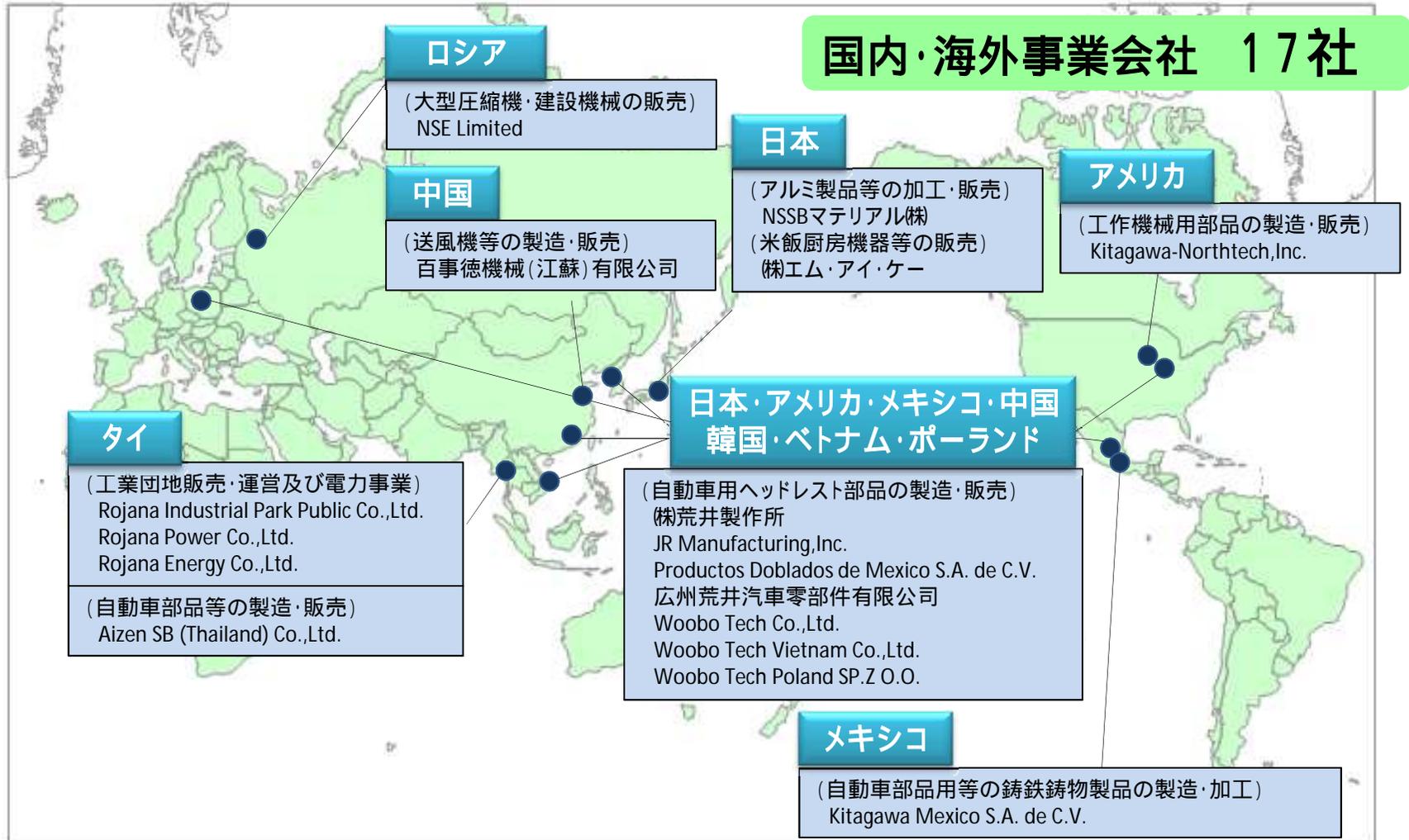


## インフラ事業

タイ国での工業団地運営・販売、電力事業の運営

# 産機・インフラ事業

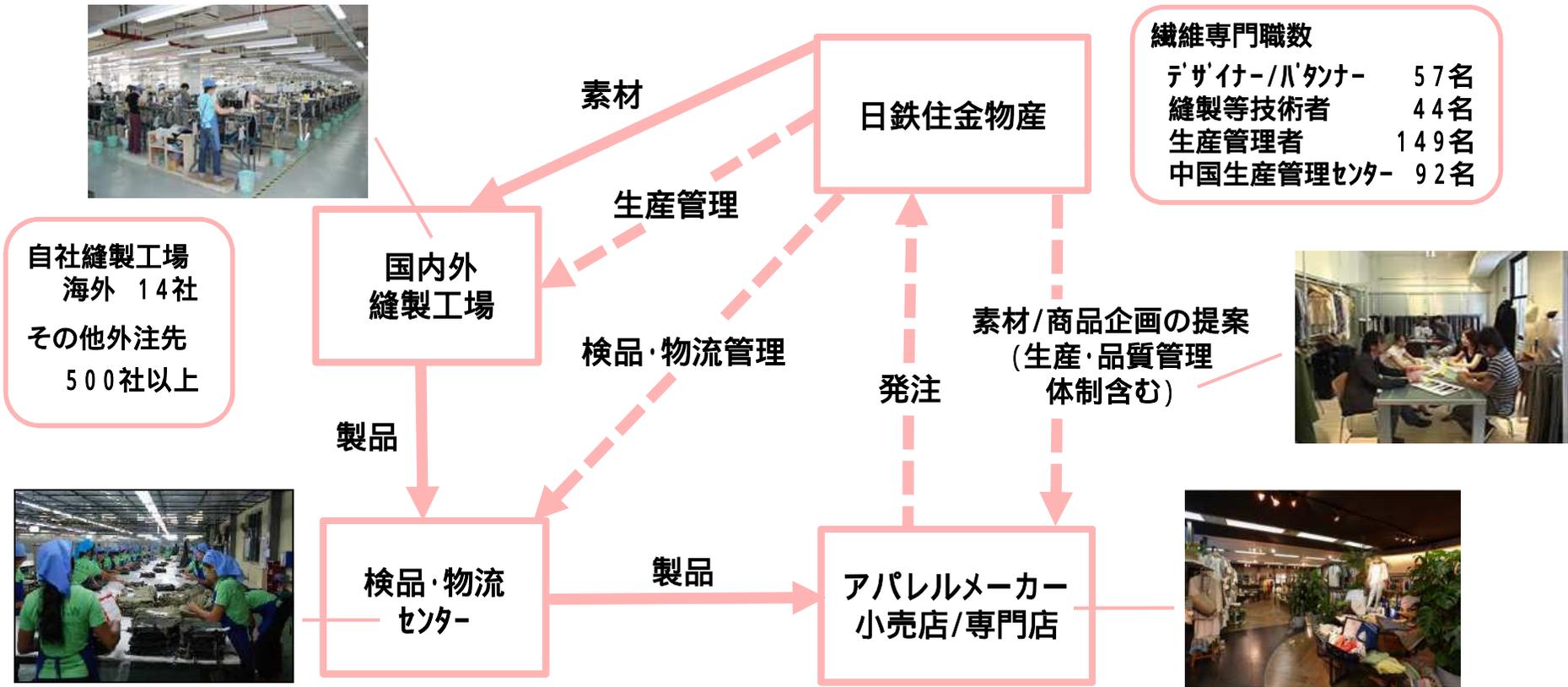
## 自動車部品を中心にグローバルな事業展開



# 繊維事業

## OEM(相手先ブランド製品の生産)事業のトップランナー

- 主要製品はメンズ・レディス・子供衣料、学生服、ユニフォーム、スポーツ衣料、インナーウェア、寝装品、雑貨等
- 輸入仕入が約80%(うち、約70%が中国、約30%がASEAN他)
- 素材の開発・調達から商品企画、さらに生産・物流・品質管理体制まで総合的に提案



# 繊維事業

## ODM事業への取り組み

- OEM事業において培った企画提案力や物流・販売ノウハウを活かし、商品企画段階から積極的に提案を行うODM(独自デザイン生産)事業への取り組み

## ソリューション事業の拡充

- 無線ICタグ事業、ASEAN・中国での国際物流サービス事業への取り組み
- 海外ブランドの日本展開を生産・販売・物流と多面的に支えるビジネスへの取り組み

# 食糧事業

## 輸入食肉のパイオニア

長年にわたる取り組みによる、海外仕入先・工場との緊密な関係を活かし、輸入食肉の取り扱いシェアは常にトップクラス

### ビーフ

主要輸入先：アメリカ、オーストラリア  
東南アジア向け三国間取引、和牛輸出にも注力

### ポーク

主要輸入先：デンマーク、オランダ、アメリカ、スペイン  
東南アジア向け三国間取引にも注力

### チキン

主要輸入先：ブラジル、アメリカ、タイ

### 加工品等

主要輸入先：(チキン加工品) タイ、中国  
(水産品) アメリカ、カナダ、ウルグアイ  
(農産品) ニューージーランド

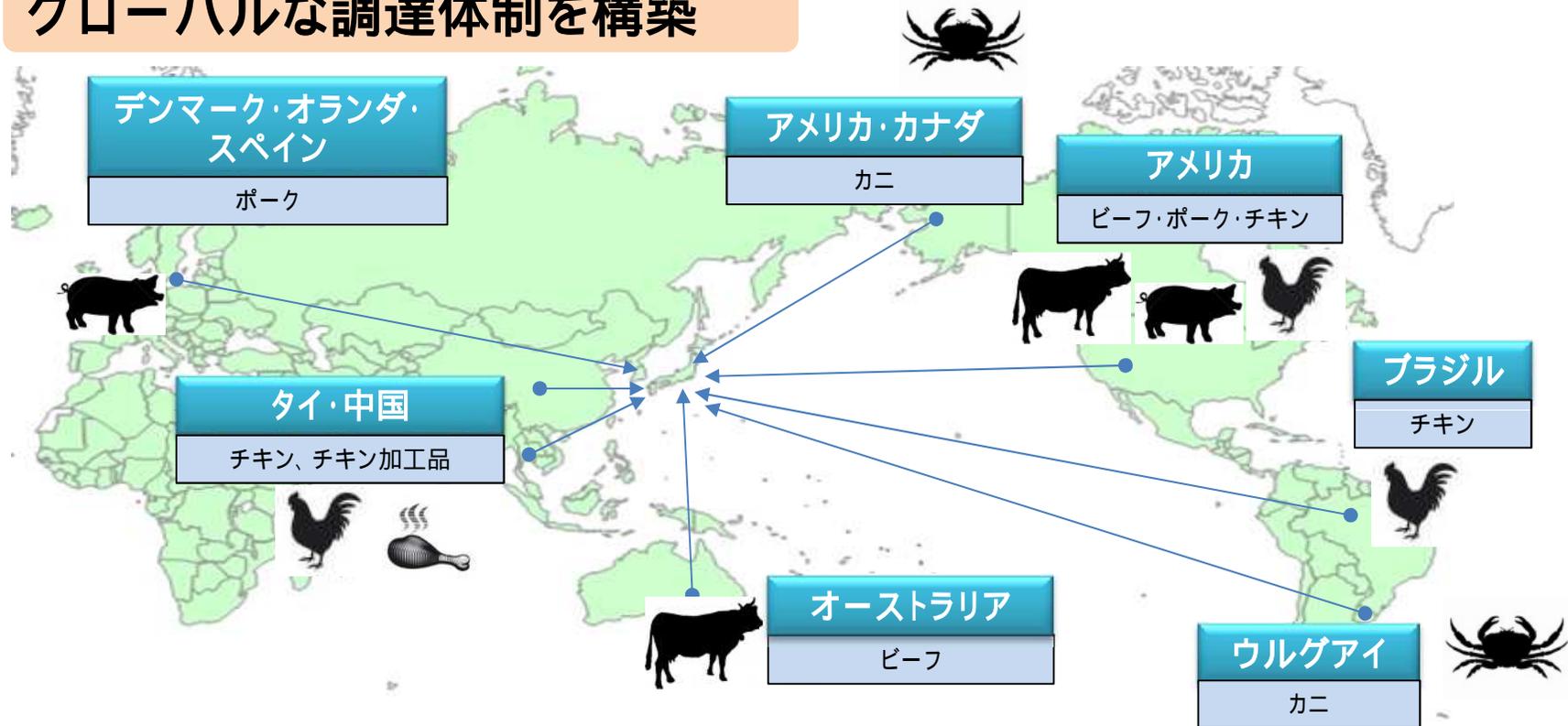
## 外食産業への取り組み

(株)つば八において居酒屋チェーンを展開

タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア等、東南アジアを中心にフランチャイズ展開を強化

# 食糧事業

## グローバルな調達体制を構築



## 安全への取り組み ~ 他社に先駆け、食品安全専門部署を設置 ~

- ・生産、加工の協力工場に対する定期工場監査、巡回指導、生産立会の実施
- ・出資先である検査会社を活用し、輸出前検査等、原材料・製品の安全性を確認

## 2. 2015年3月期業績

# 2015年3月期 連結業績

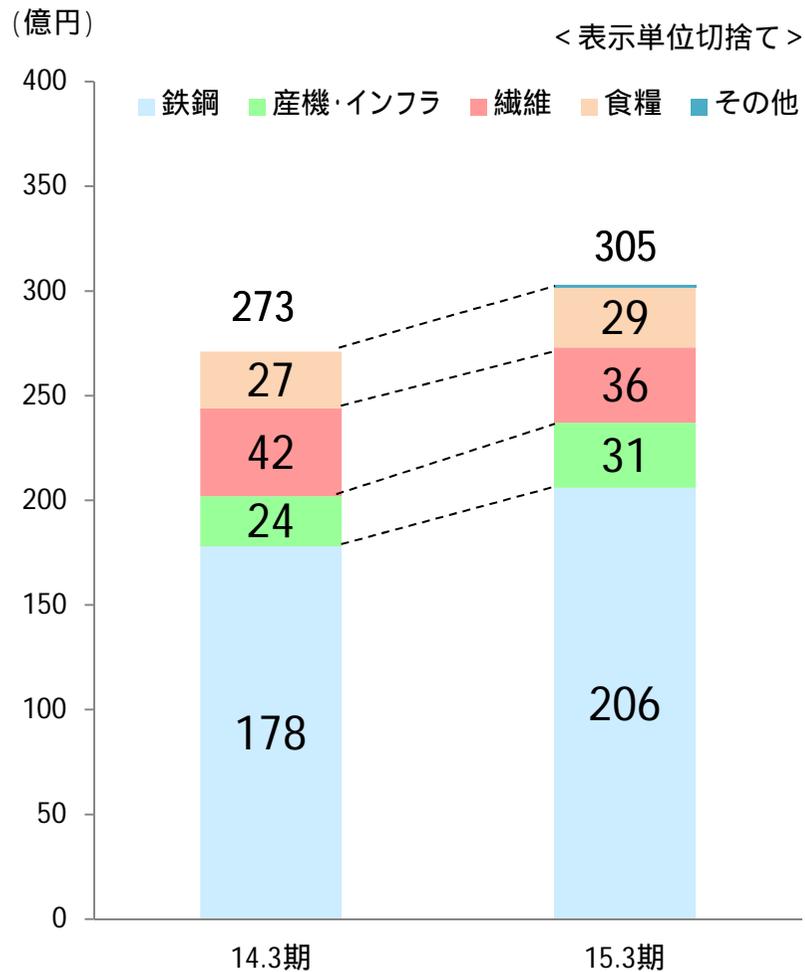
(単位:億円)

	14.3期 1	15.3期	増減	
			金額	率
売上高	19,915	21,046	1,131	6%
営業利益	262	286	24	9%
経常利益	273	305	32	12%
当期純利益 2	140	174	34	24%

1 14.3期実績は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算しております。

2 14.3期実績の当期純利益に含まれる、合併に伴う負ののれん発生益116億円を除いた数値であります。

# 2015年3月期 連結経常利益増減要因分析



事業	要因
鉄鋼	国内販売価格の上昇と、輸出数量の増加による売上増加に加え、統合効果による経費の削減もあり増益
産機・インフラ	ロシア向けラインパイプ用鋼材の取扱い増、太陽光発電事業の業績寄与等により増益
繊維	期中の急激な円安及び一部の関係会社の業績悪化等により減益
食糧	輸入豚肉の販売増加など、輸入食肉事業が好調に推移し増益

14.3期実績は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算しております。

# 連結財政状態及び連結キャッシュフロー

(単位:億円)

## 連結財政状態

	14.3期末	15.3期末	増減額
総資産	6,423	6,928	505
純資産	1,575	1,836	261
自己資本	1,426	1,667	241
有利子負債	1,895	2,062	167
1株当たり純資産	461.22円	539.43円	78.21円
自己資本比率	22.2%	24.1%	-
NET DER	1.1倍	1.1倍	-

## 連結キャッシュフロー

	14.3期	15.3期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	169	52	221
投資活動によるキャッシュフロー	118	115	3
財務活動によるキャッシュフロー	213	40	173
現金及び現金同等物の増減額	41	2	43
現金及び現金同等物の期末残高	260	273	13

14.3期実績は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算しております。

現金及び現金同等物の増減額には、現金等に係る換算差額(為替相場の変動による影響額)は含まれておりません。

### 3. 中期経営計画 (2016年3月期 ~ 2018年3月期)

# 中期経営計画(連結) テーマ

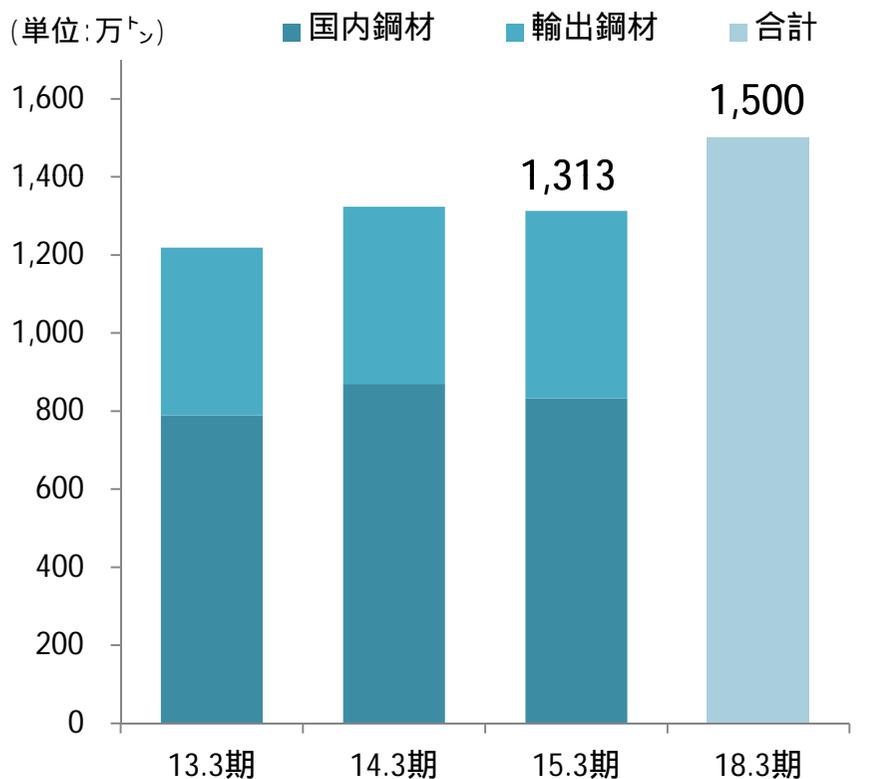
---

1. 当社の強みを活かした成長戦略の推進
  - (1) 鉄鋼分野におけるシェアアップ
  - (2) 自動車部品・インフラ関連事業のグローバル展開
  - (3) アパレルODM及びソリューション事業の強化・拡大
  - (4) 食糧分野における海外ビジネスの強化・拡大
2. 業界トップクラスの競争力の維持・強化
  - (1) 安心・安全・品質の追求
  - (2) 生産性の向上及び業務効率化
  - (3) 組織・業務基盤の拡充
3. 投資枠・従業員数
4. 定量目標(連結)
5. 配当方針

# 中期経営計画(連結) 1.強みを活かした成長戦略の推進

## (1) 鉄鋼分野におけるシェアアップ

### 鉄鋼取扱数量 中期目標



14.3期以前の実績は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算しております。

- 新日鐵住金グループの中核商社としての戦略・経営資源の共有
- メーカーとユーザーのニーズに即した加工・流通・販売・調達等の機能を国内外で的確に提供
- 新日鐵住金グループ等の海外ミル製品の販売体制の構築及び地場流通化による海外取引比率の向上
- ユーザーニーズへの対応のための新日鐵住金グループ以外の製品取扱いの充実

# 中期経営計画(連結) 1.強みを活かした成長戦略の推進

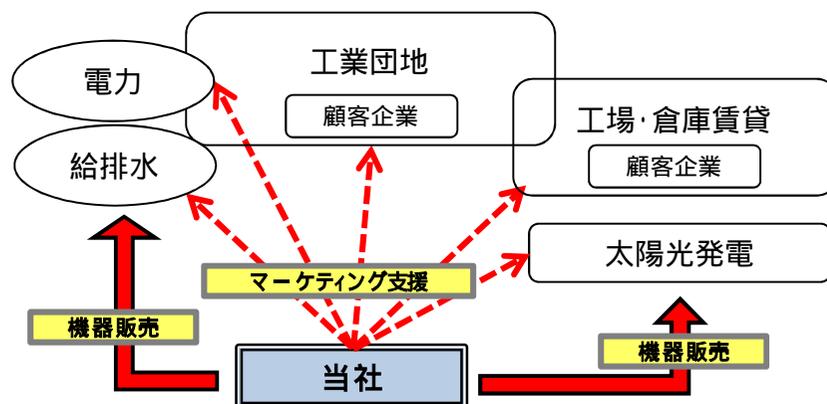
## (2)自動車部品・インフラ関連事業のグローバル展開

### ヘッドレスト部品事業 中期目標

- 15.3期:グループ売上規模約200億円  
世界シェア約13%(推定)
- 18.3期:グループ売上規模約280億円  
世界シェア約15%(推定)

- 今後世界市場の成長が見込まれる自動車部品事業の積極的拡大
  - ヘッドレスト部品事業のアジア・北中米拠点での販売拡大
  - タイ・メキシコでの鋳鍛品事業強化

### 工業団地事業のビジネスモデル



- ロジャナ工業団地社によるタイ国内事業の拡大
  - バンコク東南部に団地2ヵ所を新規開発
  - タイ国最大手レンタル工場・倉庫会社との連携強化
- ロジャナ事業を基盤に、ASEAN 地区での新規事業の推進

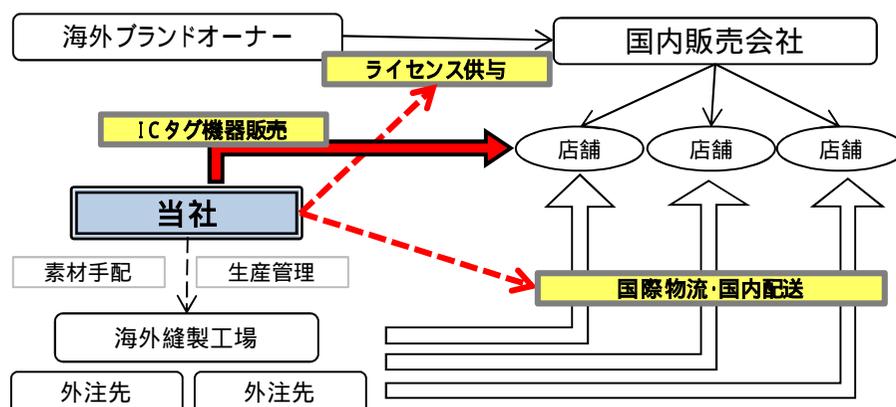
# 中期経営計画(連結) 1.強みを活かした成長戦略の推進

## (3) アパレルODM及びソリューション事業の強化・拡大

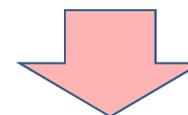
### ODM事業売上比率 中期目標

- 15.3期: 繊維事業売上の約30%
- 18.3期: 50%程度まで拡大

### ソリューション事業のビジネスモデル



- アパレルOEM事業で培った企画提案力と物流・販売ノウハウを活かした事業ドメインの拡大



ODM形態への進化(商品企画から積極的に提案)

ブランド・物流関連のソリューション事業等の展開による事業ドメインの拡大

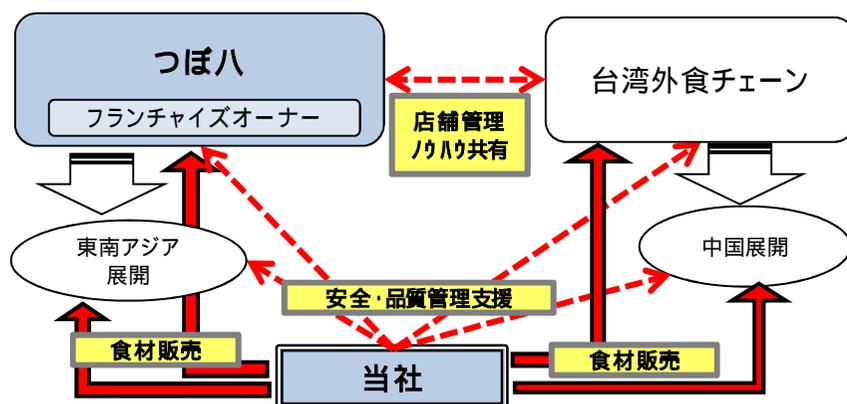
# 中期経営計画(連結) 1.強みを活かした成長戦略の推進

## (4) 食糧分野における海外ビジネスの強化・拡大

### 海外売上高 中期目標

- 15.3期:約50億円
- 18.3期:約70億円(+20億円)

### 外食・海外事業のビジネスモデル



- 人口減少や少子高齢化による国内市場縮小への対応



牛肉・豚肉の東南アジア向け取引の拡大

和牛輸出の拡大

海外拠点を通じた現地販売の拡大

つば八の東南アジアを中心とする海外展開

# 中期経営計画(連結) 2.業界トップクラスの競争力の維持・強化

## (1)安心・安全・品質の追求

### 【鉄鋼、産機・インフラ】

技術・安全統括室を中心とする安全操業・製品品質に関わる取り組み強化

### 【繊維】

繊維品質安全推進部を中心とする工場管理・品質管理レベル向上

### 【食糧】

食品安全室の取り組みに加え、加工食品を中心とする管理強化

# 中期経営計画(連結) 2.業界トップクラスの競争力の維持・強化

## (2)生産性の向上及び業務効率化

### 【鉄鋼、産機・インフラ】

加工・流通機能の強化

国内外の加工・流通拠点の最適活用と統合再編による効率化

### 【繊維】

自社工場の生産性向上

外注先での当社専用ライン確保

本社の受発注業務等の効率化

### 【食糧】

国内外の市場に適した海外食肉加工業者の開拓による

輸入食肉の仕入ルートの拡充

# 中期経営計画(連結) 2.業界トップクラスの競争力の維持・強化等

## (3)組織・業務基盤の拡充

統合会社としての組織及び業務プロセスの最適設計並びに  
全社基幹システムの統合(2016年4月稼動予定)

事業基盤の整備と人材育成・適正配置

- ・関係会社管理・支援の強化(特に海外サポート体制の充実)
- ・グローバル人材の育成

コンプライアンスの徹底とリスクマネジメントの強化

# 中期経営計画(連結) 3.投資枠・従業員数

## 投資枠

投資枠450億円(3ヶ年合計)

[参考:2013年3月期～2015年3月期実績358億円]

各分野におけるM & Aを含む戦略投資の積極的な検討

## 従業員数

業務効率化による現状の従業員1,850人～1,900人体制の維持  
(単体、国内・海外出向者含む)

# 中期経営計画(連結)

## 4. 定量目標

	18.3期 目標	(参考)15.3期 実績
売上高	2兆3,000億円	2兆1,046億円
(海外売上高)	(6,800億円)	(5,533億円)
経常利益	360億円	305億円
当期純利益	210億円	174億円
自己資本	2,000億円以上	1,667億円
自己資本比率	25% ~ 30%程度	24.1%
ネットD/Eレシオ	1倍未満	1.06倍
ROE	10%以上の維持	11.2%

(注)18.3期の当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」であります。

## 5. 配当方針

16.3期より、配当方針として連結配当性向の目安を、現行の「20%程度」から「25% ~ 30%」に引き上げることといたします。

# 中期経営計画(連結) セグメント別業績目標

(単位:億円)

	15.3期 実績	18.3期 目標	増減	
			金額	率
<b>売上高</b>				
鉄鋼	16,796	18,400	1,603	10%
産機・インフラ	924	1,000	75	8%
繊維	1,781	2,000	218	12%
食糧	1,529	1,600	70	5%
その他事業	12	-	-	-
合計	21,046	23,000	1,953	9%
<b>経常利益</b>				
鉄鋼	206	240	33	16%
産機・インフラ	31	34	2	9%
繊維	36	54	17	47%
食糧	29	32	2	8%
その他事業	1	-	-	-
合計	305	360	54	18%

## 4. 2016年3月期予想

# 2016年3月期 連結業績予想

(単位:億円)

	16.3期 予想		15.3期
	15.9期 (上期)	16.3期 (通期)	実績
売上高	10,300	21,200	21,046
営業利益	135	295	286
経常利益	135	310	305
当期純利益	78	175	174
配当	中間配当予想 7.5円	通期配当予想 15.0円	通期配当 2 12.0円
連結配当性向		1 26.5%	21.3%

- 1 16.3期より、配当方針として連結配当性向の目安を、現行の「20%程度」から「25%～30%」に引き上げることといたします。
- 2 15.3期の期末配当につきましては、1株につき6円とする(中間配当6円、通期12円)ことで、2015年6月23日開催の定時株主総会にお諮りすることとしております。

---

---

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

---

お問合せ先:

日鉄住金物産株式会社 経理部  
電話 : 03-5412-5098